

2004年3月期 決算説明会

東京ガス株式会社

代表取締役社長

市野 紀生

2004年4月28日

「見通しに関する注意事項」

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

1. 2004年3月期(03年度)決算ポイント

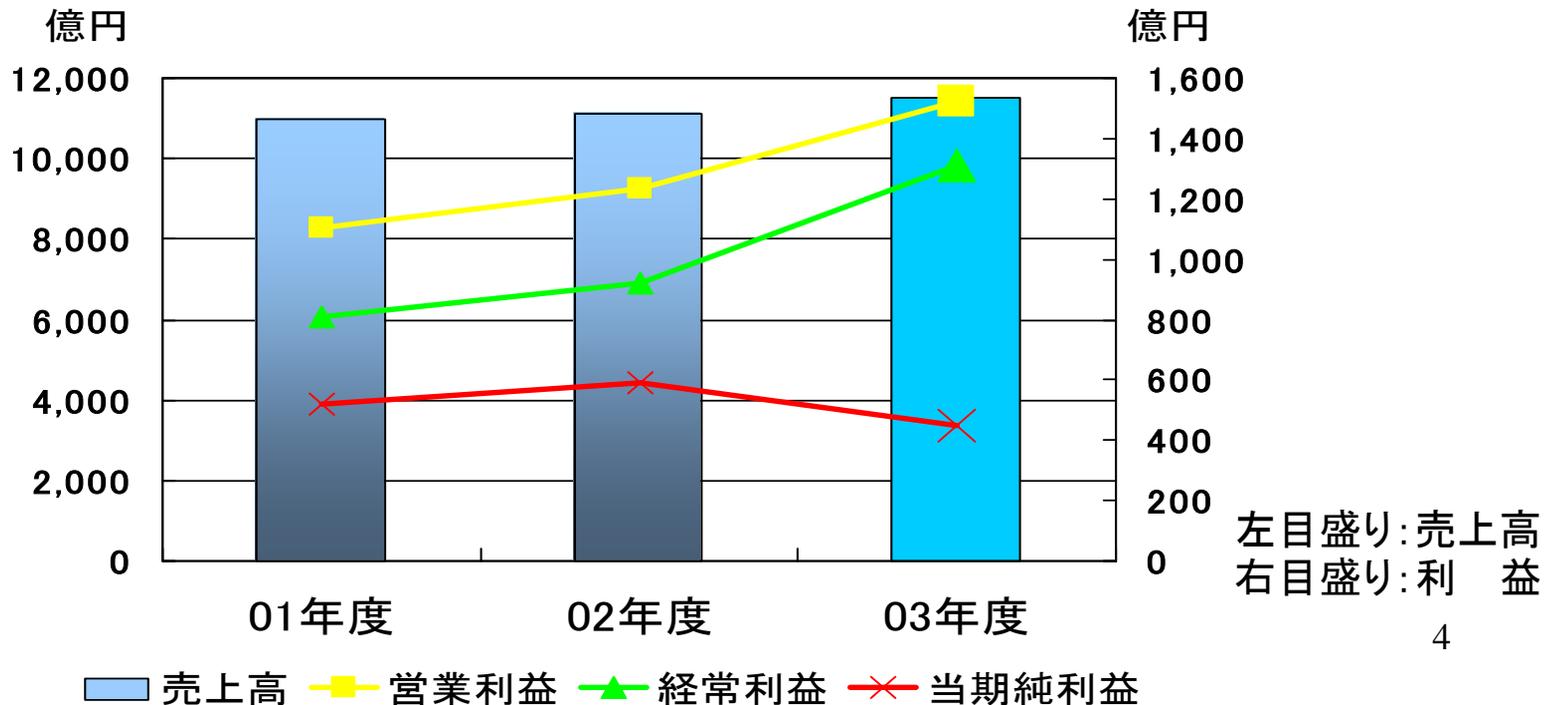
- ◆対前期増収増益（経常利益ベース）
 - ・好調なガス販売(対前期+7.1%)
 - ・着実なコストダウンの推進
- ◆自由化の本格化に備えた将来負担の軽減
 - ・年金制度改定に伴う数理差異一括償却
 - ・固定資産の減損会計の早期適用

決算総括(連結)

(億円未満切捨て)

	02年度	03年度	前期比
売上高	11,276億円	11,518億円	+ 242億円 (+2.1%)
営業利益	1,232億円	1,522億円	+ 290億円 (+23.5%)
経常利益	919億円	1,310億円	+ 391億円 (+42.6%)
当期純利益	592億円	447億円	▲145億円 (▲24.3%)

(注) 連結会社数: 連結子会社18社・持分法適用関連会社1社

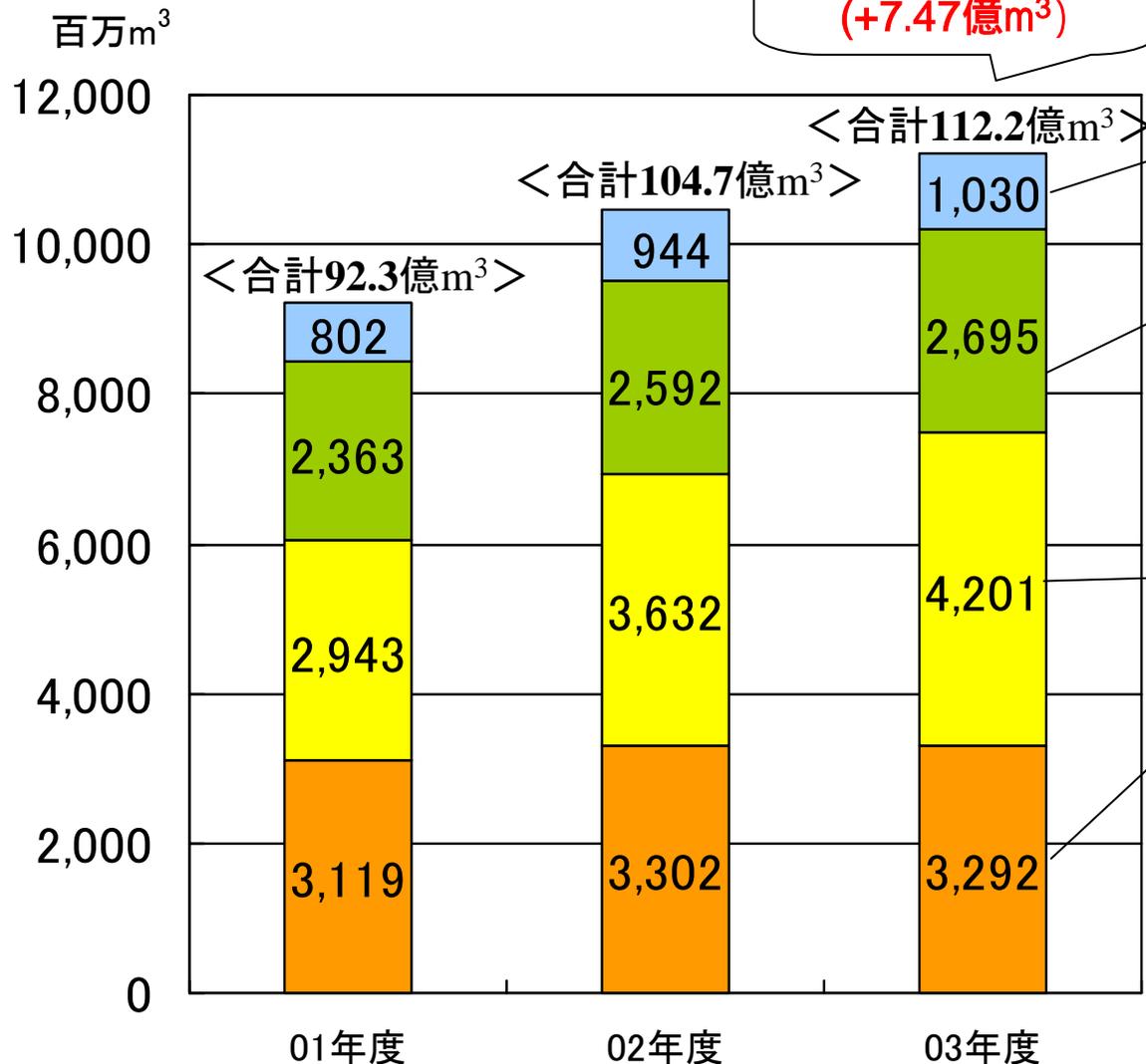




ガス販売量実績(連結)

前年度比7.1%増
(+7.47億m³)

<02→03年度増減要因>



卸供給 +9.1% (+0.87億m³)
・供給先事業者の引取量増加

商業用その他用 +4.0% (+1.03億m³)
・新規物件の順調な稼動
・夏場の低気温、下期の高気温による空調需要の伸び悩み

工業用 +15.7% (+5.69億m³)
・既存物件の稼動増
・発電需要向けの拡大

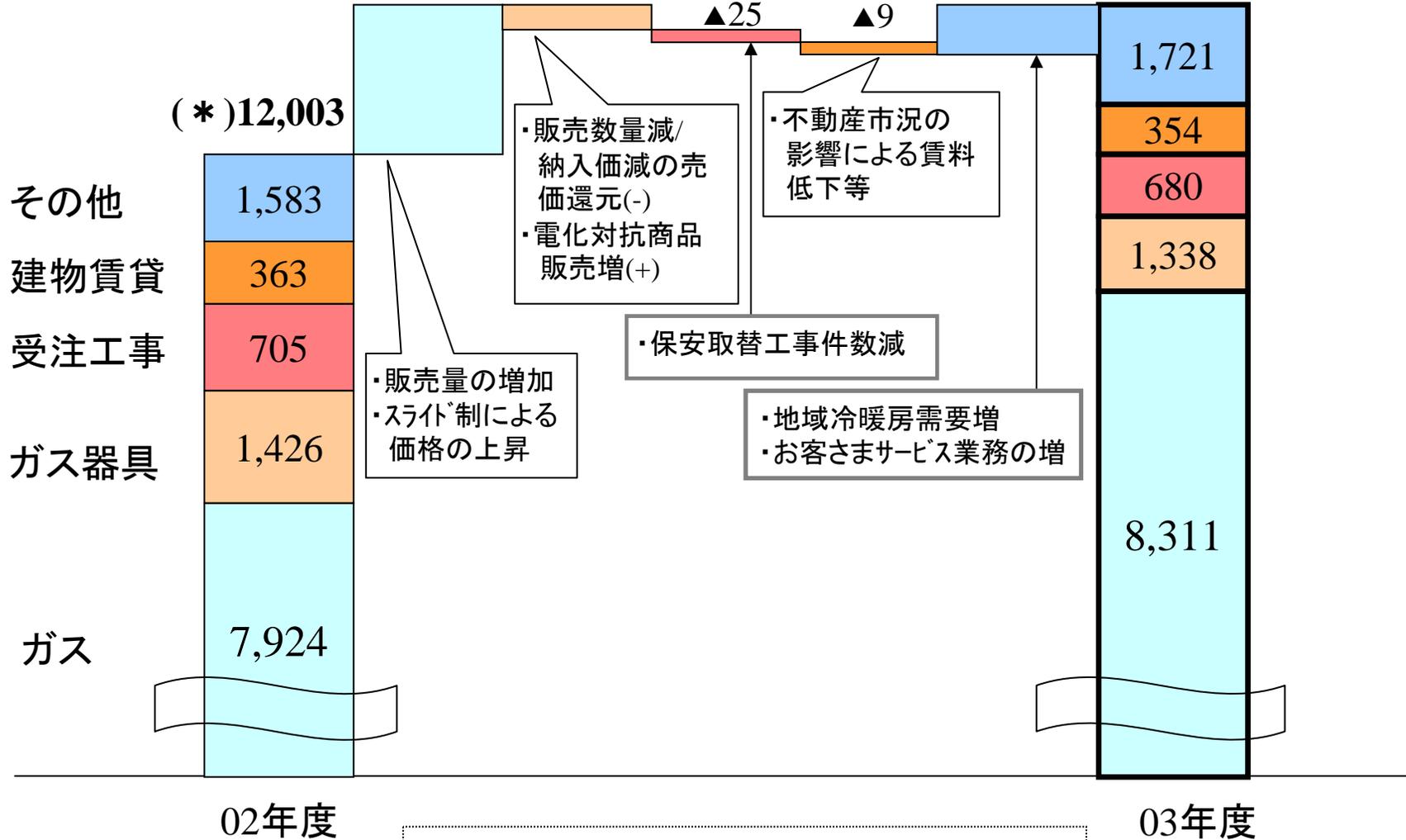
家庭用 -0.3% (-0.10億m³)
・年初、夏場の低気温により需要増加
・下期の高気温影響による給湯、暖房需要の伸び悩み

(百万m³未満四捨五入)

売上増減要因

(単位:億円)

ガス +387 ガス器具 ▲88 受注工事 建物賃貸 ▲25 その他 +138 (億円未満切捨て) (*)12,406

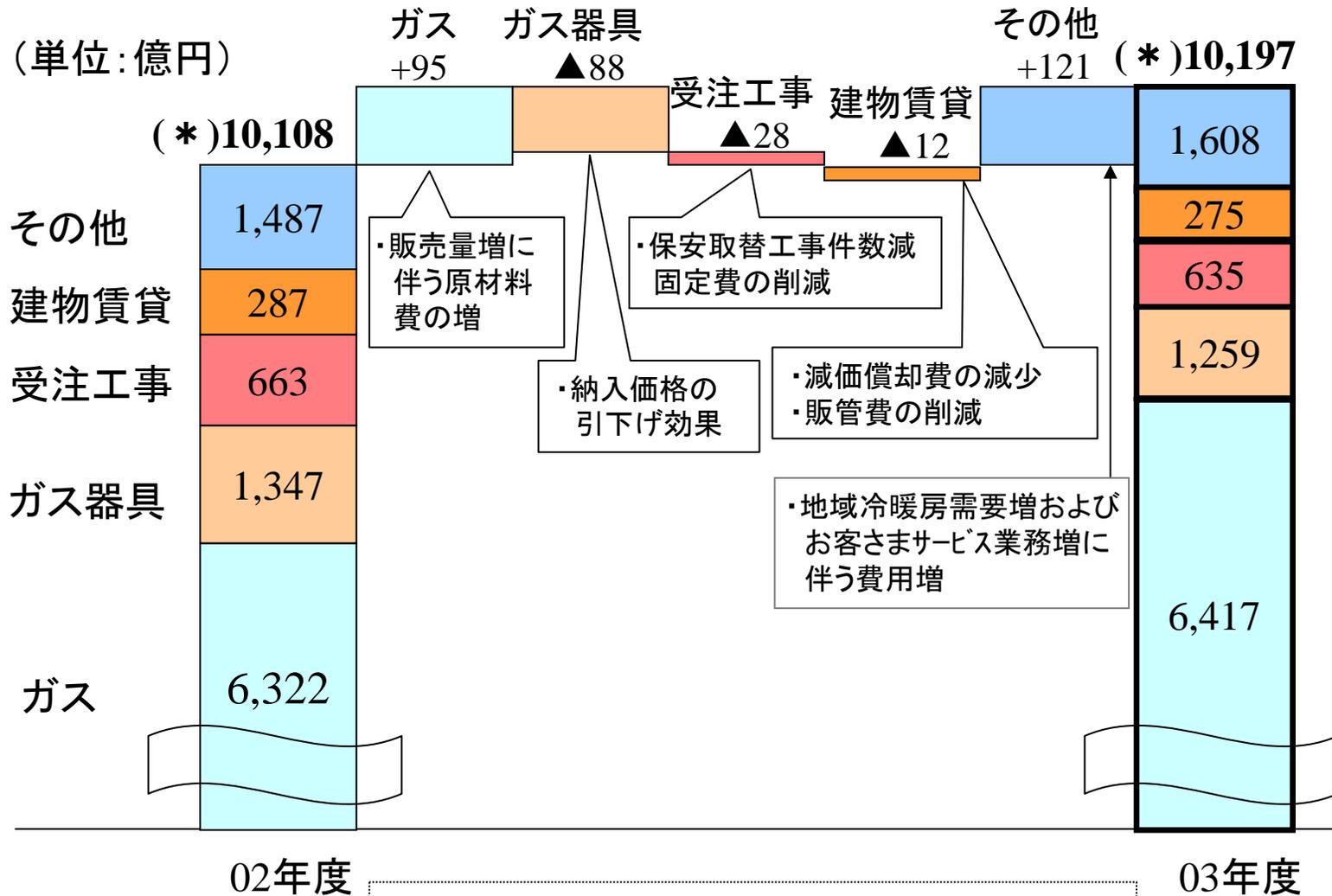


(*)売上高には、部門間の内部取引を含む

費用増減要因

(億円未満切捨て)

(単位:億円)



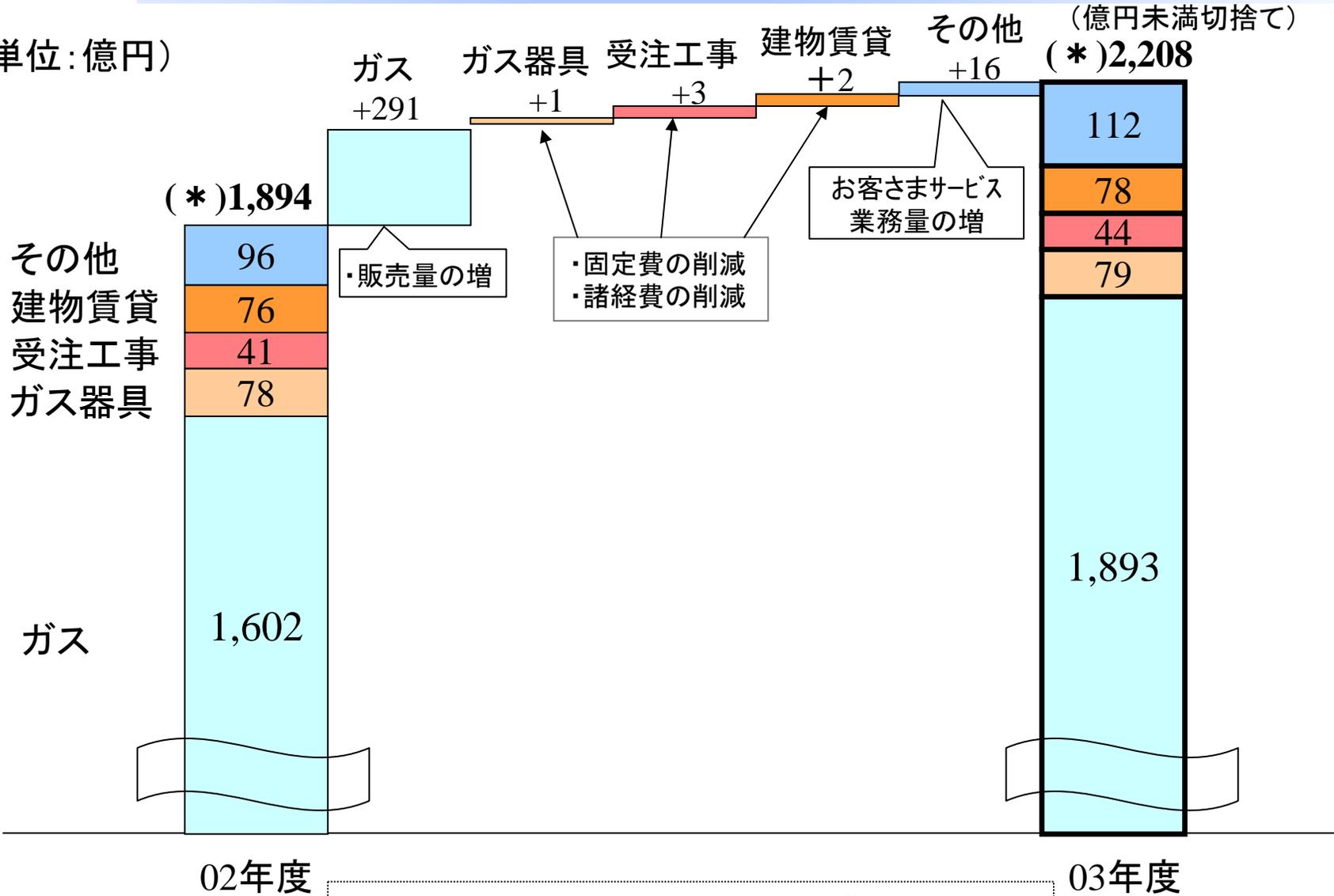
(*)費用には、部門間にまたがる費用を含む

営業利益増減要因

(単位: 億円)

(億円未満切捨て)

(*) 2,208



(*) 営業利益には、配賦不能営業費用を含まず

営業外損益・特別損益

(億円未満切捨て)

営業外損益: ▲211億円(対前期比+101億円)

●営業外収益	91億円(対前期比	+16億円)
●営業外費用	303億円(同	▲84億円)
・環境整備費	----	(同 ▲56億円)
・支払利息	148億円(同	▲26億円)
・社債償還損	65億円(同	+2億円)

特別損益 : ▲579億円(対前期比▲618億円)

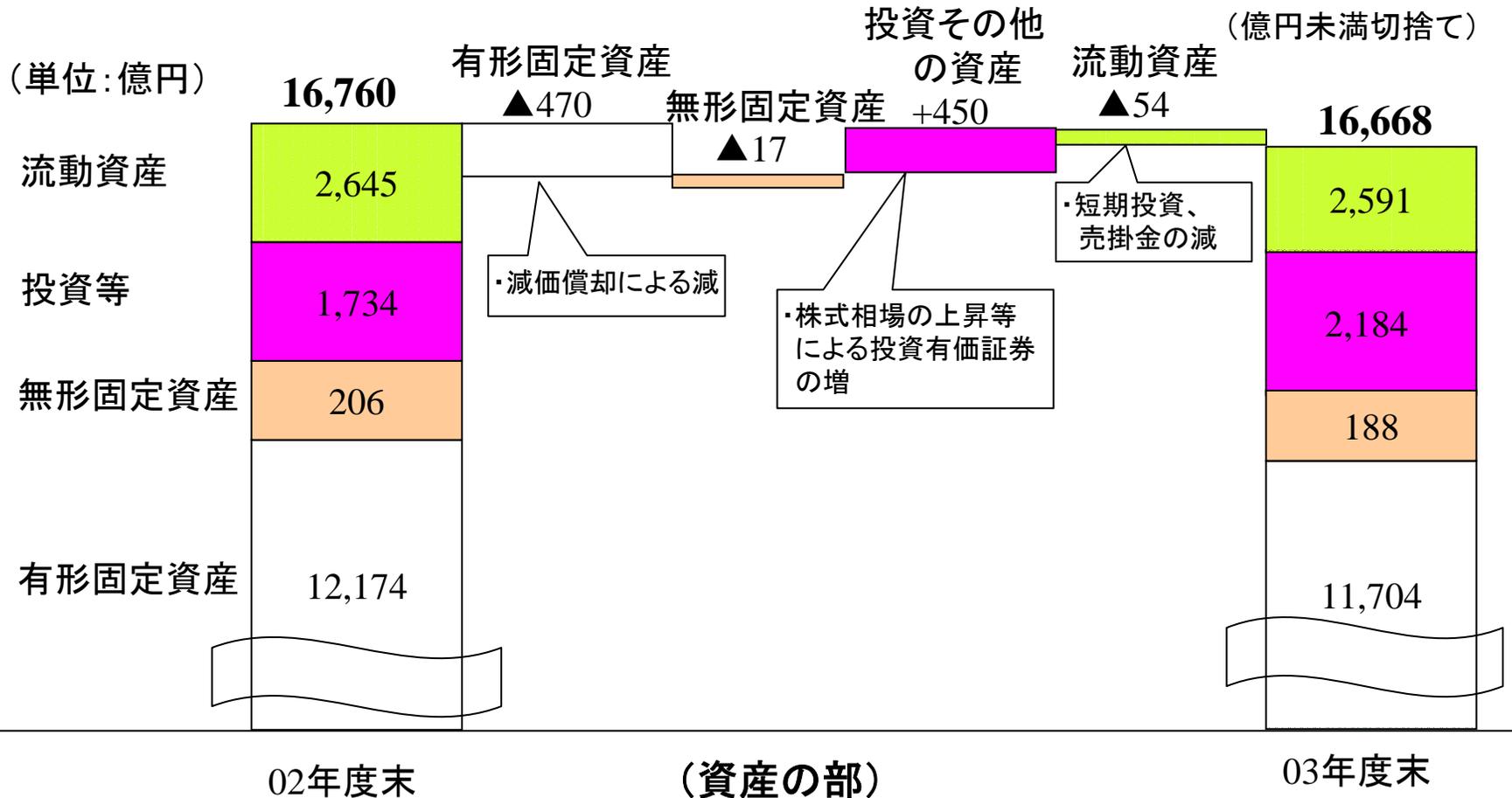
●特別利益	84億円(対前期比	▲2億円)
・企業年金制度変更に伴う 退職給付引当金取崩益	56億円(同	+56億円)
・投資有価証券売却益	5億円(同	▲26億円)
●特別損失	663億円(同	+616億円)
・退職給付数理計算差異 一括償却	589億円(同	+589億円)
・固定資産減損損失	33億円(同	+33億円)

連結利益(まとめ)

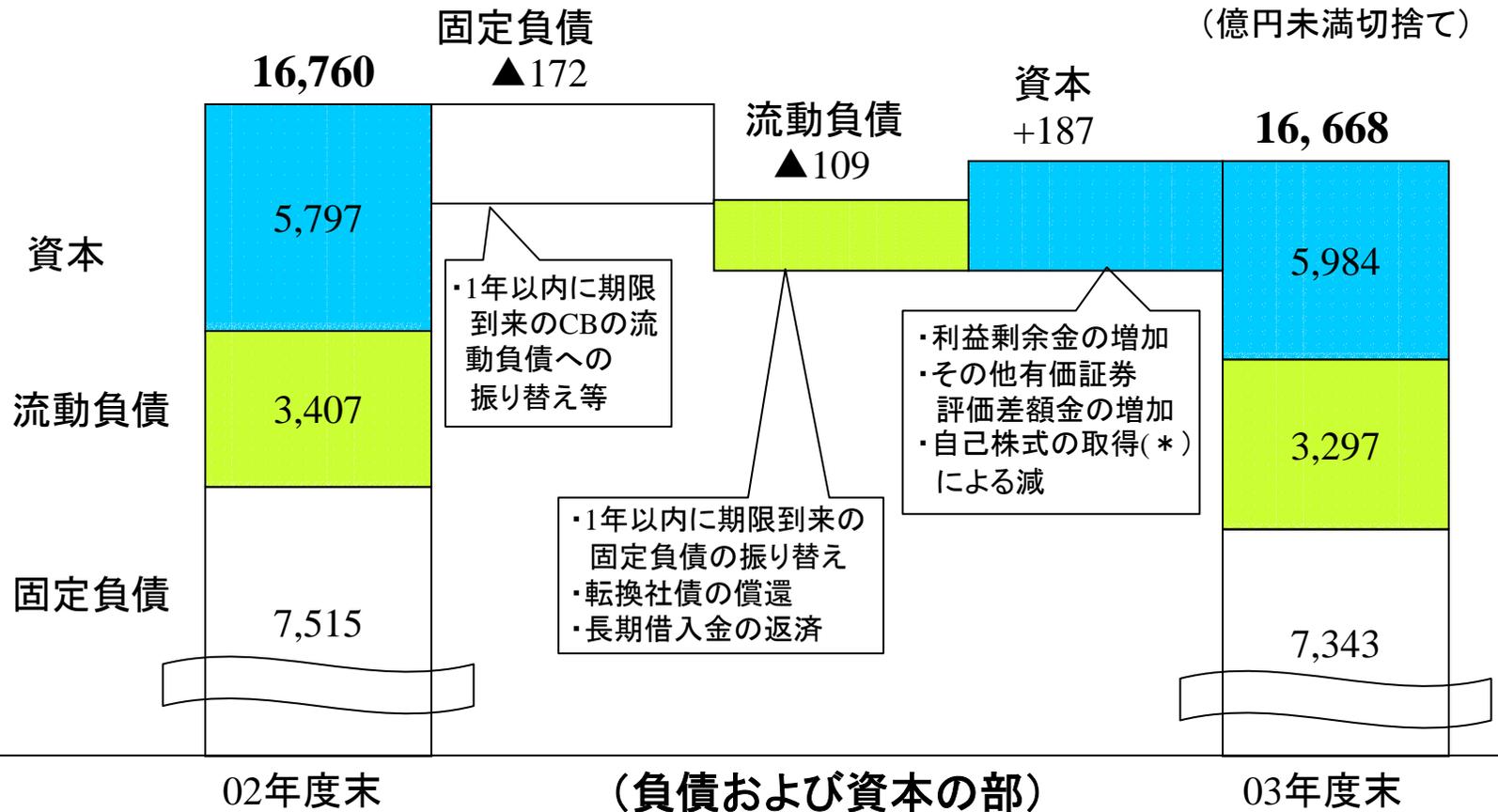
(億円未満切捨て)

項目	03 年度 実績	前期比 増減	増減率
営業利益	1,522 億円	+290 億円	+23.5%
経常利益	1,310 億円	+391 億円	+42.6%
当期純利益	447 億円	▲145 億円	▲24.3%

BS増減要因



BS増減要因



(*) (自己株式の取得)

買付株式数： 76.6百万株
 買付総額： 278億円
 買付期間： 03年5月、8～9月

2. 2005年3月期(04年度)見通し

◆決算見通し

◆ガス販売量見通し

04年度決算見通し

(億円未満切捨て)

	03年度実績	04年度見通し	対03年度	
			差異	増減率
総売上高	11,518億円	11,970億円	+452億円	+3.9%
ガス売上高	8,311億円	8,260億円	▲51億円	▲0.6%
その他売上高	3,207億円	3,710億円	+503億円	+15.7%
総費用	9,996億円	10,520億円	+524億円	+5.2%
営業利益	1,522億円	1,450億円	▲72億円	▲4.8%
経常利益	1,310億円	1,310億円	▲0億円	▲0.1%
当期純利益	447億円	860億円	+413億円	+92.0%

※04年度より連結子会社数を18社→51社へ変更



ガス販売量見通し(連結)

前年度比2.6%増
(+2.87億m³)

<年度見通し増減要因>

卸供給 +8.3% (+0.86億m³)

- ・一般ガス事業者の引取量の増加
- ・大口ガス事業者向け供給の新規計上

商業用その他用 +6.9% (+1.86億m³)

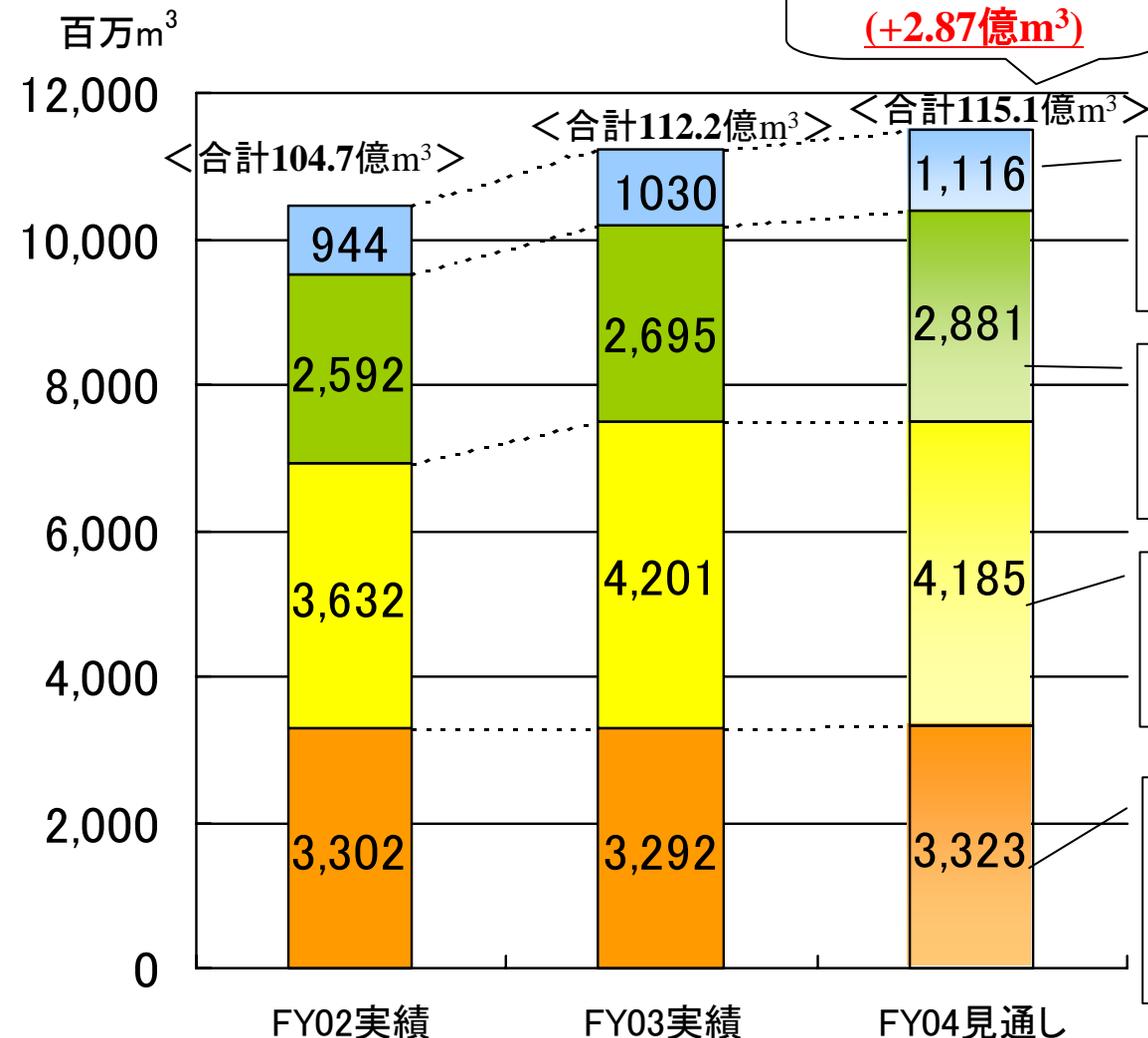
- ・ガス空調の需要拡大に伴う新規物件の獲得

工業用 ▲0.4% (▲0.16億m³)

- ・新規お客さまの獲得
- ・発電特需の平準化

家庭用 +0.9% (+0.31億m³)

- ・床暖房や電化対抗商品の拡販等営業に注力
- ・新規お客さまの獲得

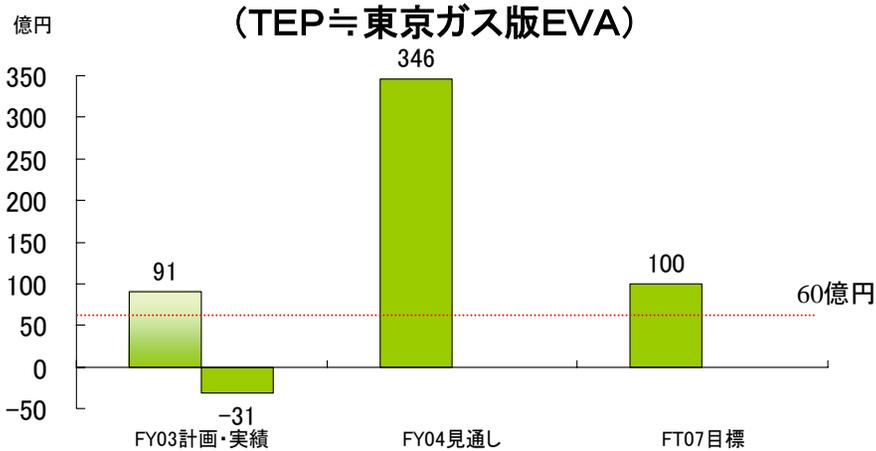


(百万m³未満四捨五入)

3. 「フロンティア2007」進捗状況

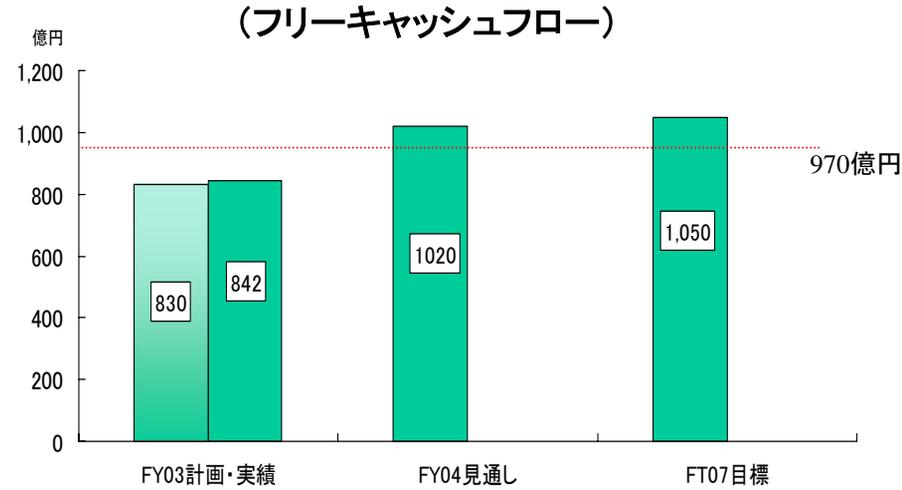
- ◆ 主要経営目標
(TEP、FCF、ROA、有利子負債残高)
- ◆ 株主還元の拡充
(自己株式取得・増配の実施)
- ◆ エネルギー関連領域への事業拡大

主要経営目標の状況

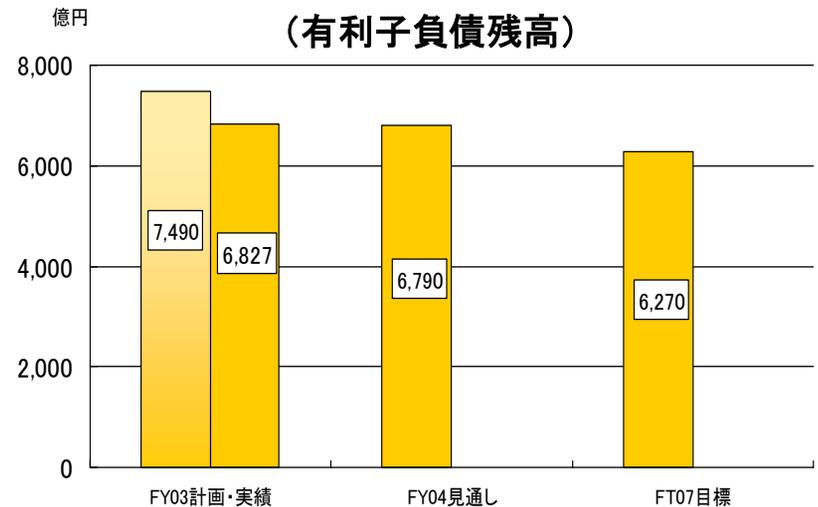
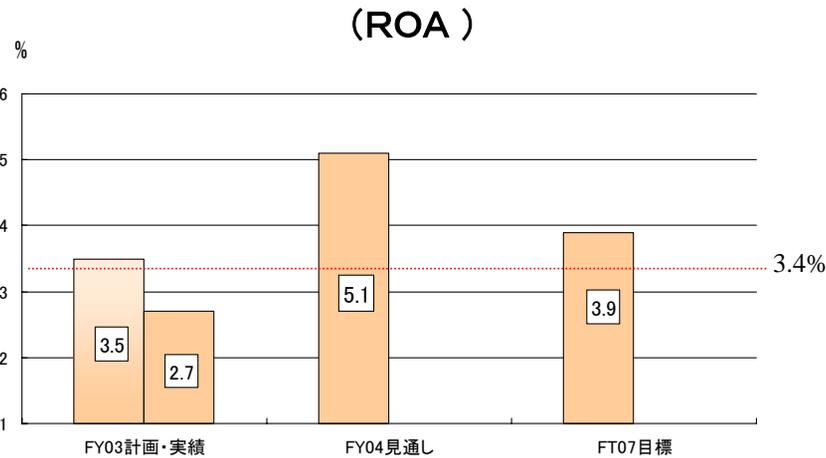


■ WACC: 02年度4.5%、04年度見通し4.6%

- ・有利子負債コスト: 2.23% (税引後)、3.5% (税引前)
- ・株主資本コスト: 6.5% (=3.5% (リスクフリーレート) + 0.75 (β値) × 4% (リスクプレミアム))



■ FCF=当期利益+付帯・長前込み減価償却費-設備投資



※04年度より連結子会社数を18社→51社へ変更

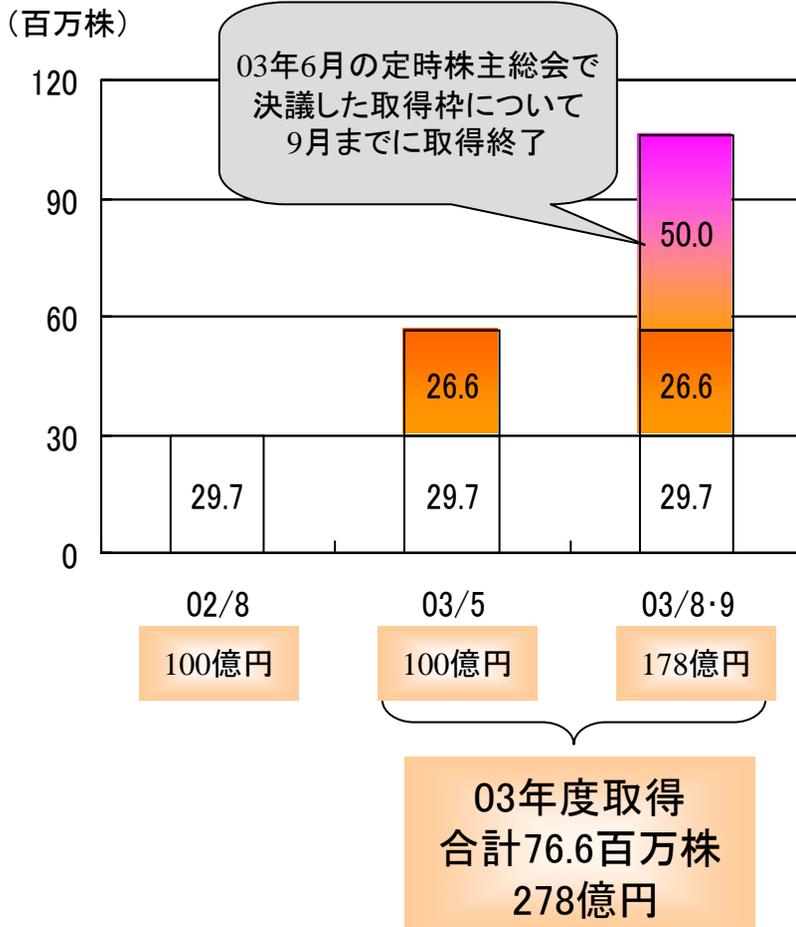
※ 赤線はフロンティア2007で掲げた5カ年平均目標

株主還元の拡充

①自己株式取得の実施

②増配の実施(予定)

—これまでの取得実績—



03年度利益処分より 増配予定

中間3円
 期末3円→4円
 年間配当
 6円/株→7円/株へ

エネルギー関連領域への事業拡大

1. 上流・輸送分野への進出

- ダーウィンLNGプロジェクトへの正式参画(03年6月)
 - ・2006年から17年間 100万t/年購入・全量FOB契約
 - ・東京電力との共同出資 (TE6.72% TG3.36%)
- 自社LNG船「エネルギーフロンティア」号の就航(03年9月)
 - ・初の自社所有船(14万5千m³)、FOB分の輸送



2. 電力ビジネスの拡大

- 東京ガスベイパワーの営業運転開始(03年10月)
 - ・10万kW、Ennetへ供給
- 企画会社「扇島パワー」設立(03年7月)
- 東京ガス横須賀パワーによるトーメンパワー横須賀(24万kW)の株式取得(03年7月)
 - ・2006年度運転開始予定



3. エネルギーサービス事業の展開

- エネルギーアドバンスを中心に市場開拓
 - ・2003年度までに累計 35件 約6万kWの契約を受注
 - ・NEDO等補助金採択件数 18件 約5万kWでコージェネ分野では業界第一位の実績

※NEDO・・・新エネルギー産業技術総合開発機構

4. 家庭用新サービス事業への進出

- 総合警備保障との提携による「ホームセキュリティ」事業開始(04年4月)
- 床暖房等の遠隔操作「ホットネットサービス」開始(04年4月)
- 損保ジャパンと共同開発した「あんしん家財くん」の販売開始(03年1月)



4. 参考資料

◆主要計数表(1)

◆主要計数表(2)

主要計数表(1)

(億円)

	03年度実績			04年度見通し		
	FY02 実績	FY03 実績	対前期比	FY03 実績	FY04 見通し	対前期比
売上高	11,276	11,518	+2.1%	11,518	11,970	+3.9%
ガス売上高	7,924	8,311	+4.9%	8,311	8,260	▲0.6%
その他売上高	3,352	3,207	▲4.3%	3,207	3,710	+15.7%
営業利益	1,232	1,522	+23.5%	1,522	1,450	▲4.8%
経常利益	919	1,310	+42.6%	1,310	1,310	▲0.1%
当期純利益	592	447	▲24.3%	447	860	+92.0%
TEP	134	▲31	---	▲31	346	---
為替(円/US\$)	121.98	113.19	▲8.79	113.19	110.00	▲3.19
原油(\$/bbl)	27.40	29.42	+ 2.02	29.42	30.00	+0.58
気温(°C)	16.1	16.3	+0.2	16.3	16.8	+0.5

主要計数表(2)

(億円)

	03年度実績			04年度見通し		
	FY02実績	FY03実績	対前期比	FY03実績	FY04見通し	対前期比
総資産(a)	16,760	16,668	▲0.6%	16,668	16,770	+0.6%
株主資本(b)	5,797	5,984	+3.2%	5,984	6,440	+7.6%
株主資本比率(b)/(a)	34.6%	35.9%	—	35.9%	38.4%	—
有利子負債残高	7,313	6,827	▲6.6%	6,827	6,790	▲0.5%
利益キャッシュフロー(c)	592	447	▲24.3%	447	860	+92.0%
投資キャッシュフロー (d)=(f)- (e)	290	394	+35.9%	394	160	▲59.4%
設備投資(e)	1,119	1,074	▲4.1%	1,074	1,263	+17.6%
減価償却(f)	1,410	1,468	+4.2%	1,468	1,423	▲3.1%
フリーキャッシュフロー (c) + (d)	882	842	▲4.5%	842	1,020	+21.1%
ROA : (c) / (a)	3.5%	2.7%	—	2.7%	5.1%	—
ROE: (c) / (b)	10.4%	7.6%	—	7.6%	13.8%	—
EPS(円)	21.18	16.44	▲22.4%	16.44	31.81	+93.4%

(注)ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／株主資本(期首・期末平均)

EPSの分母は期中平均株数

フリーキャッシュフロー={利益キャッシュフロー-(当期純利益)}+{投資キャッシュフロー-[減価償却費)-(設備投資)]}